



横浜市

下水道事業

中期経営計画2026

2026-2029

はじめに

下水道は、市民の皆様の日々の安心・安全な暮らしを守るとともに、水環境の保全や都市の持続的な発展を支える、重要なライフラインです。さらに、カーボンニュートラルの実現や資源循環の推進においてもその役割が広がっています。

横浜市では、この重要な基盤を将来にわたり安定的に維持し、次の世代へと確実につないでいくため、持続可能な事業運営に取り組む内容をまとめた「横浜市下水道事業中期経営計画2026」(計画期間:2026～2029年度)を新たに策定しました。

本計画では、市民の皆様が下水道の存在を身近に感じていただき、本市下水道事業が果たしていく役割や将来像について御理解いただけるよう、構成や表現に工夫を凝らしました。

計画策定に際し、貴重な御意見をお寄せいただいた市民の皆様、関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

引き続き、皆様の御理解と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

2026年(令和8年)6月

横浜市長

山中 竹春



Always flowing, always working.

あなたのくらしのすぐ下で

朝、顔を洗うとき。
夜、食器を洗い、一日を終えるとき。

くらしのすぐ下で、
流れ出る水を、受け止めています。
それが、下水道です。

あって当たり前。
24時間365日、しずかに働き続けます。
くらしの水は、下水道を通り、
川へ、海へ、そして、未来へとつながっていきます。

いまを生きる私たちから、これからの世代へ。
しずかに、そして確かに、つなげていくために。

下水道事業が目指す姿

下水道のある日常

大雨でも
安心・安全なくらし

地震がきても
衛生的なくらし

環境と共生した
豊かなくらし

章構成と概要

CHAPTER01

計画の概要

経営理念や経営方針、計画の位置づけ等を示します。

CHAPTER02

下水道事業について

下水道の役割、横浜市の下水道施設の概要、下水道のしくみを示します。

CHAPTER03

下水道を取り巻く環境

下水道施設の老朽化や自然災害の激甚化、物価上昇や人口減少など、取り巻く環境が変化しても、「下水道事業が目指す姿」を実現するためこれからの事業運営の方向性を示します。

CHAPTER04

4年間の実施計画

下水道事業が目指す姿を実現するため、4年間で実施する施策・組織運営・財政運営を示します。

CHAPTER05

財政収支計画

「4年間の実施計画」に基づいた財政収支計画を示します。

目次

CHAPTER 01

| | |
|--------------------|----|
| 計画の概要 | P2 |
| 1 経営理念と経営方針 | P3 |
| 2 計画の概要 | P4 |
| 3 計画の進捗管理(PDCA) | P5 |
| 4 SDGsに貢献する横浜市の下水道 | P7 |

CHAPTER 02

| | |
|------------------|-----|
| 下水道事業について | P10 |
| 1 下水道の基本的な役割 | P11 |
| 2 拡大する下水道の役割(変遷) | P13 |
| 3 横浜市の下水道の概要 | P15 |
| 4 数字でみる横浜下水道 | P16 |
| 5 下水道のしくみ | P17 |

CHAPTER 03

| | |
|---------------|-----|
| 下水道を取り巻く環境 | P24 |
| 1 下水道施設の老朽化 | P25 |
| 2 気候変動と災害の激甚化 | P29 |
| 3 物価の上昇 | P31 |
| 4 将来的な人口減少 | P32 |
| 5 下水道事業の責務 | P33 |

CHAPTER 04

| | |
|-----------------|------|
| 4年間の実施計画 | P36 |
| 1 実施計画の一覧 | P37 |
| 2 施策 維持管理・老朽化対策 | P46 |
| 浸水対策 | P64 |
| 地震対策 | P74 |
| 公共用水域の水質保全 | P82 |
| 下水道資源の有効活用 | P90 |
| 温室効果ガスの削減 | P96 |
| 3 組織運営 | P106 |
| 4 財政運営 | P126 |

CHAPTER 05

| | |
|-------------|------|
| 財政収支計画 | P134 |
| 1 財政収支計画の概要 | P135 |
| 2 構成要素の説明 | P137 |
| 3 経営指標 | P145 |
| 4 財政収支計画 | P147 |
| 5 財政収支の長期推計 | P151 |